



小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和5年1月10日 第9号
小笠原村立小笠原中学校
校長 椎橋 秀行

学校ホームページ

<https://www.ogachu.ogasawara.ed.jp>



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



新年を迎えて

校長 椎橋 秀行

明けましておめでとうございます。

令和5年の幕開けです。小笠原らしい温暖な年明けとなりました。保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(「冬休みのしおり」に載せた内容です。)

12月23日に終業式を迎えます。今年の冬休みは、お正月だけでなく、クリスマスも含まれます。昨年は母島でお正月を迎え、日本で一番早い初日の出を見て、獅子舞に頭をかじられ、海開きで泳ぎました(さすがに海から上がってからが特に寒かったです)。今年は、学期末に事情があって内地に行きませんが、元旦は父島で迎えます。どのようなお正月になるか楽しみです。

みなさんにとっても、家族と過ごす大事な時間になると思います。そして、日頃会えない人とも会えるチャンスになる人もいると思います。ぜひ有意義な冬休みにして欲しいと思います。

生徒たちは、どのような冬休み・年越しを過ごしたでしょうか。昨年行った生活アンケートによると、本校の生徒だけの傾向ではないのですが、

- ・スマホなどの自分用の端末をほとんどの生徒が持っている。
- ・それらを家庭での多くの時間に利用している。
- ・テレビを見る時間は少ない。

などの傾向が見られました。

11月末に行われた、小中高合同地域学校保健委員会でも「ネット・ゲーム依存にならないために私たちができること」と題して、東京大学 石垣 琢磨 教授にご講演をいただきました。その中で、インターネット・リテラシー＝「うまい付き合い方」を、大人も考えなければならず、周囲の大人は、子供の問題ではなく自分も当事者として(社会の問題として)一緒に考えていくべきとありました。

3学期がスタートしました。始業式では、生徒たちの明るくやる気に満ちた顔を見ることができ、新しい年を迎えられたことを心から嬉しく思います。

これからの3ヶ月は、1年間の総仕上げの時です。そして、次年度への進級・進学に備える大切な時期です。まずは、3年生全員の進路決定が無事に終わることを願っています。

3学期は「次の学年の、0学期」とも言われます。それぞれの学年で積み残した課題を克服し、4月から新しい進路先や学年でいいスタートが切れるよう、しっかりと準備をしてほしいと思います。

第2学年キャリア学習「職場体験」

第2学年担当 高部 みなみ

第2学年は、11月28日(月)～11月30日(水)に、以下の12事業所の皆様のご協力をいただき、職場体験を行いました。

小笠原アイランド農業協同組合農産物観光直売所 小笠原海上保安署 小笠原海洋センター
小笠原消費生活協同組合(B.I.T.C) 小笠原水産センター 小笠原整備工場
小笠原村立父島保育園 海上自衛隊父島基地分遣隊 KAIZIN ダイビングサービス
TOMATON(トマトン) HOTEL PAT INN 森本智道農園 (敬称略 五十音順)

それぞれの事業所の活動では水槽掃除、商品の陳列や車の整備、ダイビングの補佐、商品のラッピング、農家の土づくり、接客等、実に多くの貴重な体験を行わせていただきました。

自分たちが利用したことのある施設や知っている人が働く施設だからこそ、「知っていると思っていたはずの仕事の裏にこんなにも多くの細かい仕事がある。」「人に見られない目立たないけれど大事な仕事がある。」「身近な人の仕事での真剣な一面がある。」ことに気付くことができていました。贅沢な経験をさせてもらったことに感謝することとともに、働いて自分たちを支えてくれる保護者にも感謝することもできていました。

事後学習では、「あなたにとって働くとは?」という質問に対して、「大変だけど楽しい」「やりがい」「努力」「自分が思っているよりも広い世界」等、自分たちの言葉でまとめることができていたのが印象的でした。今後、普段の学校生活や多くの人たちとの関わりを通して、働くことについての考えをゆっくりと深めながら、自分の将来を考える時間が、「わくわく」するものになればよいと思います。

仕事の中に楽しさを見いだすことは、とても難しいことです。この職場体験に協力してくださった事業所の皆様、保護者の皆様に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



小笠原アイランズ農業協同組合



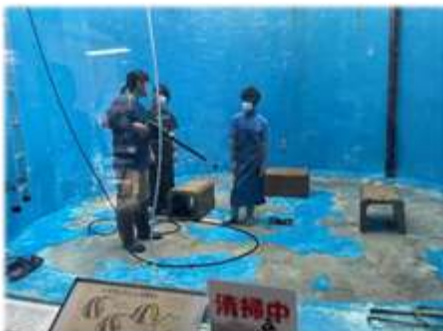
小笠原海上保安署



小笠原海洋センター



小笠原消費生活協同組合(B.I.T.C)



小笠原水産センター



小笠原整備工場



小笠原村立父島保育園



海上自衛隊父島基地分遣隊



KAIZIN ダイビングサービス



TOMATON(トマトン)



HOTEL PAT INN



森本智道農園

令和4年度 学校評価

副校長 坂本 司

小笠原中学校の教育活動のさらなる充実を目指し、今年度も「学校評価アンケート」を実施し、保護者の皆様にご協力いただきました。ご多用の中、全家庭からご提出をいただきました。大変ありがとうございました。以下に数値の結果をご報告いたします。また、「昨年度より改善された点、良くなったと思われる点」「まだ努力を要すると思われる点、改善に向けて努力してほしい点」についてもご意見をお寄せいただきました。3月の保護者会で、改めてご報告させていただく予定です。

- A：そう思う
 B：どちらかといえばそう思う
 C：どちらかといえばそう思わない
 D：そう思わない
 E：答えられない、わからない

	質問内容	A	B	C	D	E	
1	学校だよりや保護者会等を通じて、学校や学級の方針をわかりやすく伝えている	49	45	4	0	1	
2	学校だよりや学級だよりを通じて、学校や生徒の様子等、いろいろな情報を発信している	49	43	4	0	4	
3	保護者会や面談等、保護者の方に来校していただく機会は、適切な時期・内容で設定されている	44	53	3	0	0	
4	教員は教科指導や生活指導等、教育活動全般に熱心に取り組んでいる	53	39	3	0	6	
5	教員は、生徒が授業内容を理解できるよう、指導方法や教材研究等、授業改善に取り組んでいる	32	45	6	0	17	
6	学習指導全般において、基礎・基本の定着に努めている	28	49	8	1	14	
7	生徒が主体的に学び、考えられるよう、授業を工夫している	24	44	10	0	22	
8	1年間の学習をまとめた学習ファイル（通知表、学習の手引き、定期考査計画結果等）は効果的である	38	36	15	0	11	
9	生徒の学習状況や成果（評価）を、通知表や定期考査結果等を通し、適切に伝えている	49	47	1	0	3	
10	英会話能力を高めるために、ネイティブイングリッシュティーチャーによる授業など、授業を工夫している	47	46	1	0	6	
11	総合的な学習の時間等で小笠原の特徴を生かし、地域と連携した活動が進められている	65	29	1	0	4	
12	生徒の道徳性が高めるために、全教員で道徳授業に取り組むなど、授業を工夫している。	35	43	1	0	21	
13	授業の中で、情報教育（情報モラル教育・操作指導・情報の取捨選択等）を進めている	24	48	3	0	25	
14	日頃から日常生活のマナーや社会のルールについての指導が行われている	39	44	4	0	13	
15	防災や防犯、交通安全などの安全指導が、避難訓練などを通じて適切に行われている	38	51	4	0	7	
16	生活指導上の諸問題（いじめ等を含む）に対して適切な指導が行われている	31	43	8	0	18	
17	生徒の自主性や主体性を養うために、学校行事や生徒会活動や部活動に学校は取り組んでいる	38	51	3	1	7	
18	学校施設は整備され、教育環境が整っている	31	49	16	4	0	
19	教職員は保護者に丁寧に対応し、いつでも相談できる雰囲気がある	53	42	6	0	0	
20	学校ホームページを活用している（見たことがある）	13	28	43	14	3	
21	学校 Facebook を活用している（見たことがある）	14	28	31	17	11	

（表の数値は%です）

赤い羽根共同募金

生徒会福祉委員会担当 小島 尚子

11月28日（月）から12月2日（金）まで、登校時の玄関前で赤い羽根共同募金活動を今年度も生徒会福祉委員が中心になって行いました。11月25日（金）に福祉委員会の生徒が小笠原村社会福祉協議会に何って募金活動の物品を受け取り、募金活動の準備を進めてきました。お陰様で、5,038円を社会福祉協議会へ届けさせていただきました。保護者・地域の皆様のご協力ありがとうございました。



地域学校保健委員会

養護教諭 野田 さくら

11月29日（火）に地域学校保健委員会による講演会を今年度も開催しました。

今年は、講師に石垣 琢磨 先生（東京大学大学院総合文化研究科教授）をお招きし、Web会議システムを利用して小中高のそれぞれの会場を繋ぎ、オンラインで実施しました。

今年のテーマは、近年の健康課題となっている「ネット・ゲーム依存障害」について、依存症の概要や、予防、支援方法などについてお話いただきました。

今やインターネットは、生活に欠かせないものとなっています。一言に「ネット・ゲーム依存」といっても、「一切やらない」という対処法は、現実的ではありません。これからの時代、ネット・ゲームとの「うまい付き合い方」を子供だけでなく大人

も一緒に考えていく問題であるということをお話いただきました。ご参加いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。



ゲーム障害とは何か？（定義）

診断に必要な項目	具体的な特徴
臨床的特徴	①ゲームのコントロールができない ②他の生活上の関心事や日常生活を選ぶほど、ゲームを優先する ③問題が起きているがゲームを続ける、またはさらにエスカレートさせる
機能障害	行動のパターンは、個人、家族、社会、職業ほかの重要な機能分野において障害を引き起こしている
期間	上記の項目が12か月以上続いている。しかし、これらがすべて存在し、しかも重症である場合には、それより短くても診断可能

1月行事予定

1日（日） 元日 成人式	18日（水） 芝生の日 小中連携の日
9日（月） 成人の日 冬季休業日終	19日（木） 職員会議
10日（火） 始業式 安全指導 発育測定 学習者用端末接続テスト（家庭） 職員会議	23日（月） 学校朝礼
11日（水） 食育講話 職員会議 自転車安全点検	25日（水） 職員会議
12日（木） 避難訓練 SC勤務 役員会・各種委員会・中央委員会	26日（木） お弁当の日 各種委員会・中央委員会 ロードレース大会前健診（希望者） SC勤務
13日（金） 職員会議	29日（日） ロードレース大会
16日（月） 生徒会朝礼	30日（月） 振替休業日（ロードレース大会が延期 の場合は、29日休業日、30日授業日）
17日（火） 百人一首大会（10日から変更）	31日（火） 生徒会朝礼